

には「ダランチ」を以て別種族の名の如く記するものあるは大なる誤謬と謂ふべし。

漢回

漢回は漢人に非らずして、現時露領土耳其機斯坦のサマルカンド地方の人民なりしが、支那に歸服せし後、言語、服裝一切を支那人同様に改めしも、唯其の奉ずる所の回々教のみは、依然之を改宗せず。彼等は通常回々ホイク或は小教シヤオチヤオと稱せらる。蓋し其の小教とは、漢人の尊信する儒教ターチヤオと云ふに對し、斯くは呼ぶものにして、稍、輕侮の意を含めり。彼等は清國內、到る處多少之れ有らざるは無きも、甘肅、新疆二省には、比較的多く住居せり。然れども清國南部殊に雲南地方に住する回々のみは亞刺比亞より海路移住して後支那に歸化せし別人種なりと云ふ。

哈薩克

哈薩克は、伊犁、塔爾巴哈臺間に游牧する人民にして、土耳其人種に「スラブ」民族の混血せしものなるが、後吉爾幾思族キルギスと混同せし爲、歐人は之を稱して吉爾幾思哈薩克と曰ふ、而して吉爾幾思は漢人の所謂布魯特フバート又は黑々子ヘイヘイズと稱する民族にして、歐人は之を喀喇吉爾幾思カラキルギスと呼ぶ所の者にて、南路の烏什、喀什噶爾、葉爾羌管内の山中に游牧す。哈薩克、布魯特も亦纏頭回、漢回と同じく、共に回々教徒にして、所謂木蘇ムス